

自動車安全・環境基準の 国際標準化に係る現状と方向性

自動車基準認証国際化ハイレベル会議

平成22年11月

目次

1. 戦略

- (1)新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)
- (2)国土交通省成長戦略(平成22年5月17日国土交通省成長戦略会議)

2. 現状分析

- (1)アジアにおけるモータリゼーション等の状況
- (2)我が国における自動車基準の国際調和に関するこれまでの取り組み
- (3)欧州における自動車基準の国際調和活動

3. 官民連携による取り組み強化のイメージ

- (1)国際的な車両型式認証の実現に向けた基盤整備
- (2)アジア諸国を巻き込んだ基準・認証の国際化

1. 戦略

(1) 新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)

～「元気な日本」復活のシナリオ～

第2章 新たな成長戦略の基本方針－経済・財政・社会保障の一体的建て直し－

フロンティアの開拓による成長

(3) アジア経済戦略

～ 「架け橋国家」として成長する国・日本 ～

(日本の「安心・安全」等の制度のアジア展開)

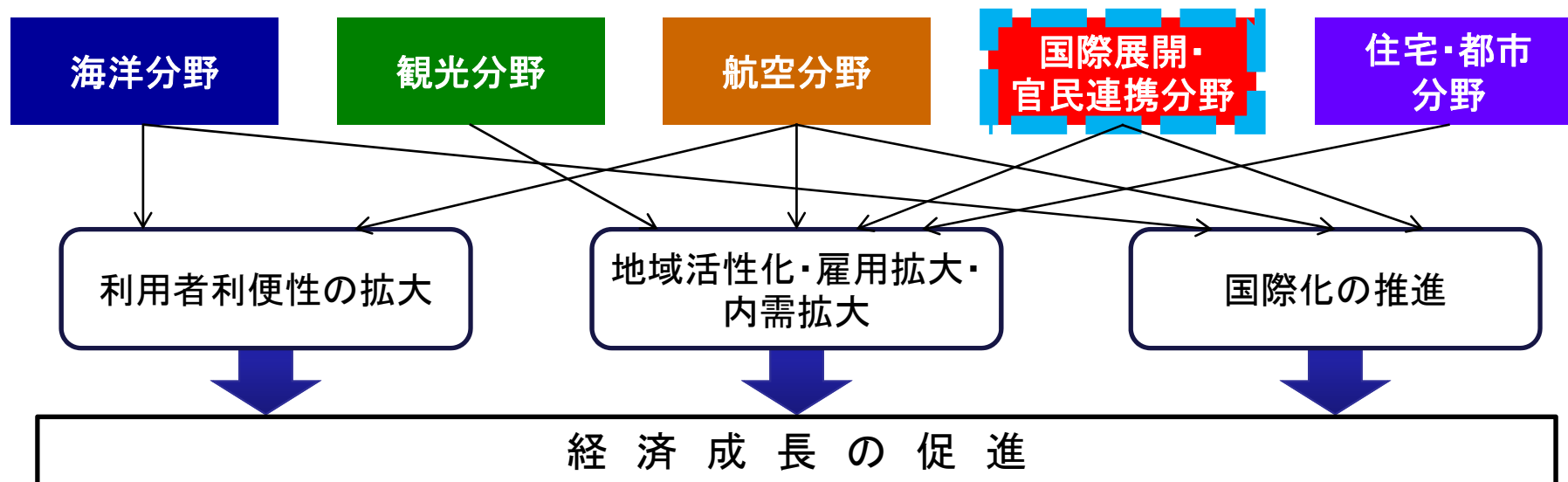
～ 略 ～

環境分野や製品安全問題等にかかる日本の技術や規制・基準・規格を、アジア諸国等とも共同で国際標準化する作業を行い、国際社会へ発信・提案することなどにより、アジア諸国の成長と「安全・安心」の普及を実現しつつ、日本企業がより活動しやすい環境を作り出す。また、スマートグリッド、燃料電池、電気自動車など日本が技術的優位性を有している分野においては、特に戦略的な国際標準化作業を早急に進める。

～ 略 ～

(2) 国土交通省成長戦略-1

—5つの対象分野—



—国際展開・官民連携の推進に向けた成長戦略—

1. 海外へ進出する日本企業への支援ツールと政府サイドの支援体制整備

～日本の技術と資本で世界展開を～

(政策1) リーダーシップ、組織・体制の強化

(政策2) スタンドアールの整備


(政策3) 金融メカニズムの整備

2. インフラ整備や維持管理への民間資金・ノウハウの活用 (PPP/PFIなど)

政策1 :リーダーシップ、組織・体制の強化

自動車産業分野 課題に 対応した政策案	早期の実現を目指すもの (平成23年度概算要求を含む)	2~3年後の実現を目指すもの
政治のリーダーシップによる官民一体となったトップセールスの展開	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国政府・国際機関等のキーマンへの働きかけ、親書の活用、要人招聘や官民共同セミナーの積極的推進 ・相手国政府・国際機関等との会議・政策対話の実施 <ul style="list-style-type: none"> ➤日ASEAN交通大臣会合を通じたASEAN各国との連携強化 ➤二国間の交通次官級協議の設置による連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国政府・国際機関等のキーマンへの働きかけ、親書の活用、要人招聘や官民共同セミナーの積極的推進(再掲) ・相手国政府・国際機関等との会議・政策対話の実施(再掲)
国土交通省内の体制強化	<p><u>官民連携による自動車分野の国際的な車両型式認証制度の構築等に向けた活動強化のための行動計画を策定するための会議体を設立</u></p>	<p>民間企業との連携の下、個別プロジェクト案件毎の戦略的な国際展開を各分野で実現 等</p>

政策2 :スタンダードの整備

自動車産業分野 課題に 対応した政策案	早期の実現を目指すもの (平成23年度概算要求を含む)	2~3年後の実現を目指すもの
日本基準の 国際標準化	日本の革新的自動車技術(電気自動車等)の国際統一基準策定のための試験研究を実施し、その試験結果に基づき、国際統一基準案を国連機関(WP29)へ提案し、国際統一基準の策定作業を主導 等	 <p>・これら作業に当たっては、アジア諸国等に対しても働きかけを実施</p>
技術協力支援 (政策のノウハウの提供、人材育成支援等)	協力準備調査、専門家派遣、高官研修、セミナー、ワークショップ等を活用した案件形成の促進・人材育成	協力準備調査、専門家派遣、高官研修、セミナー、ワークショップ等を活用した案件形成の促進・人材育成(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車等交通分野の専門家の派遣や相手国からの研修の受入、ワークショップの開催等を通じた人材育成 等

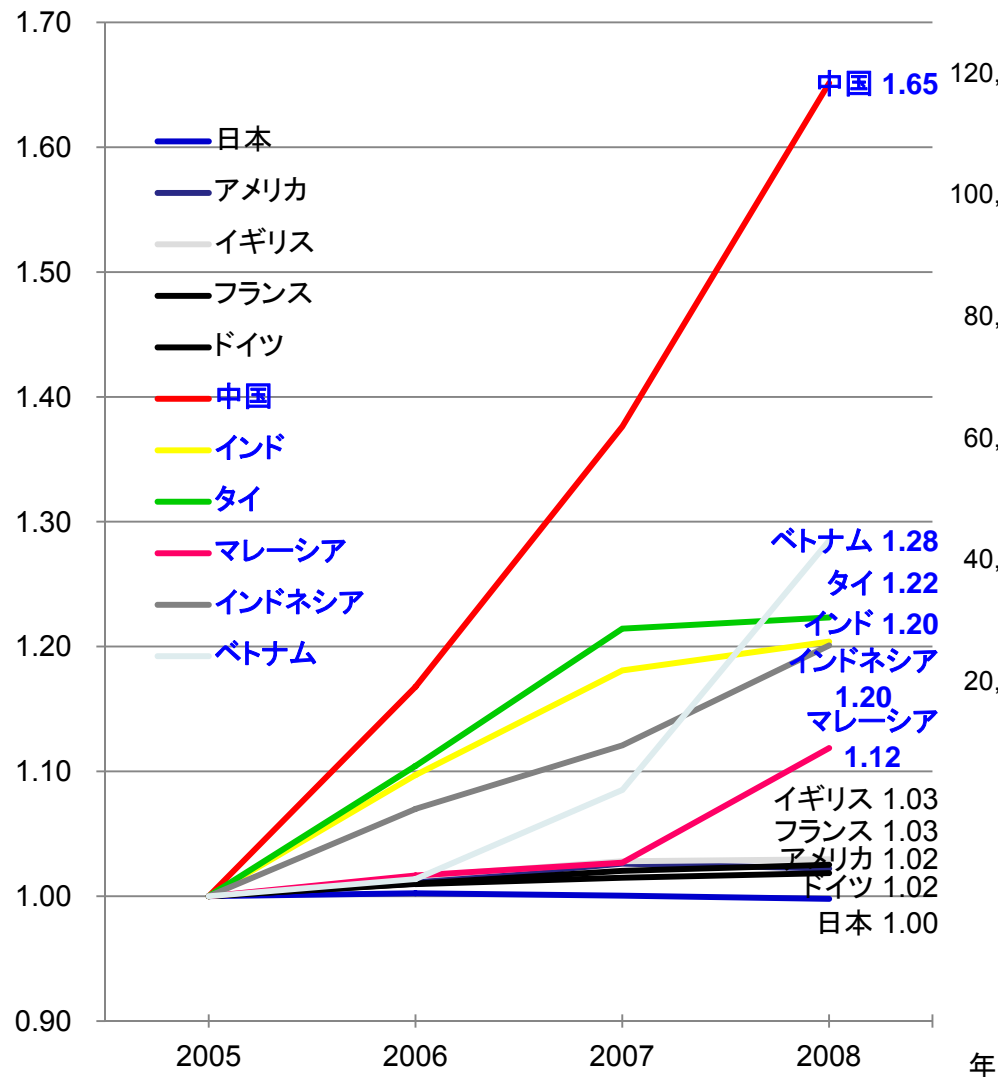
2. 現状分析

(1) アジアにおけるモータリゼーション等の状況

—保有車両数の推移—

増減率

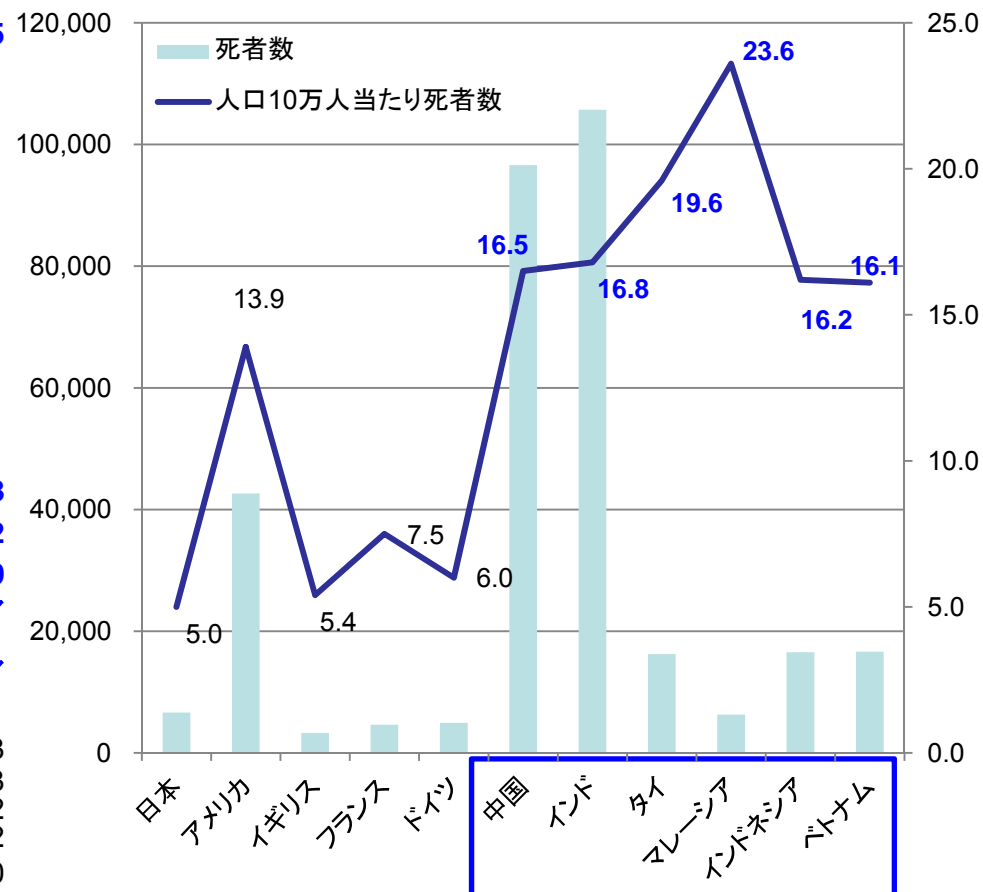
2005年を1として指数化



—交通事故の状況—

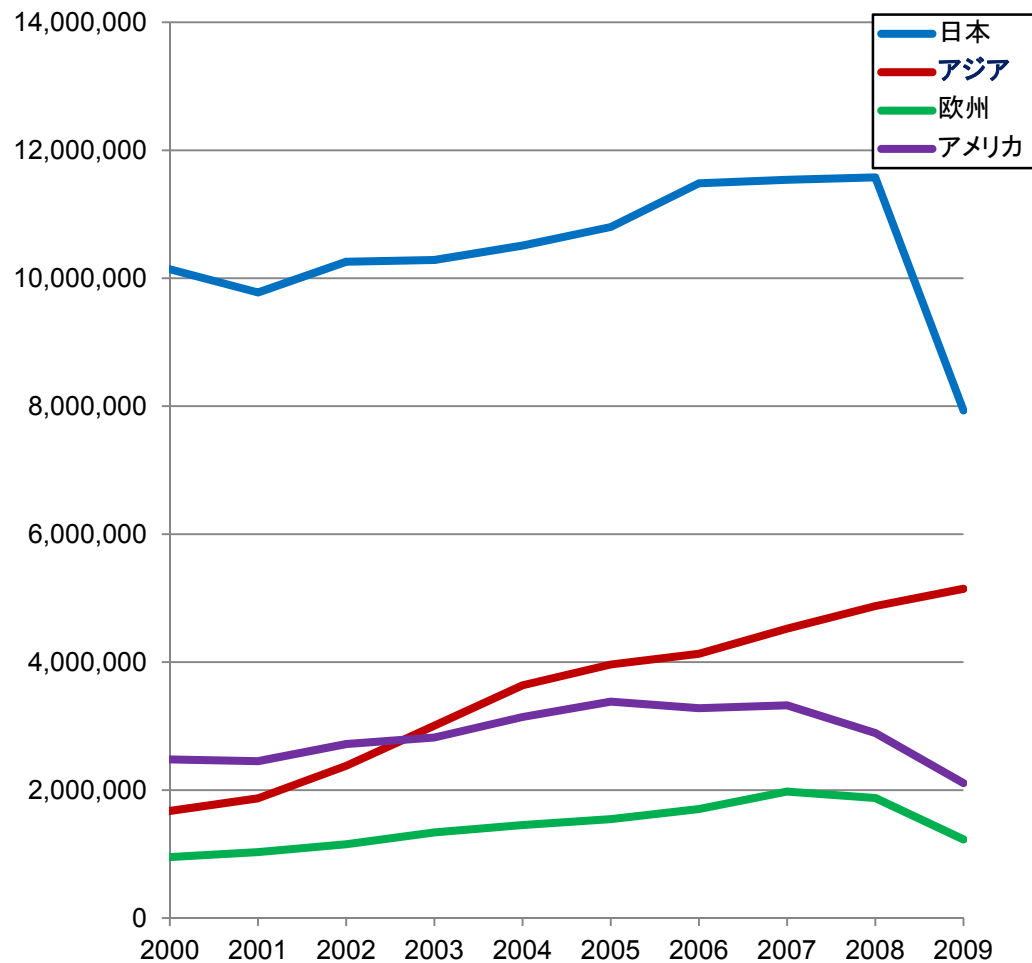
諸外国の死者数と人口10万人当たり死者数

(2007年)

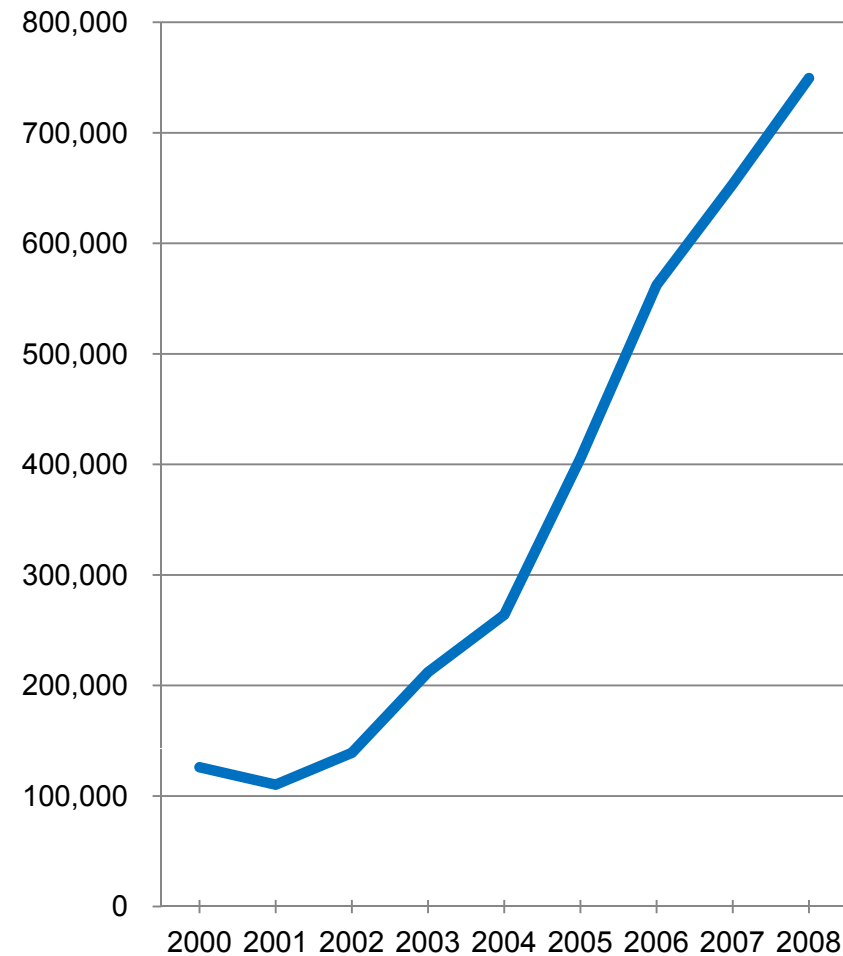


(1) アジアにおけるモータリゼーション等の状況

— 日本の自動車メーカーの
各地域における生産台数 —



ASEAN地域における
— 日本の自動車メーカーによる
国外輸出台数 —

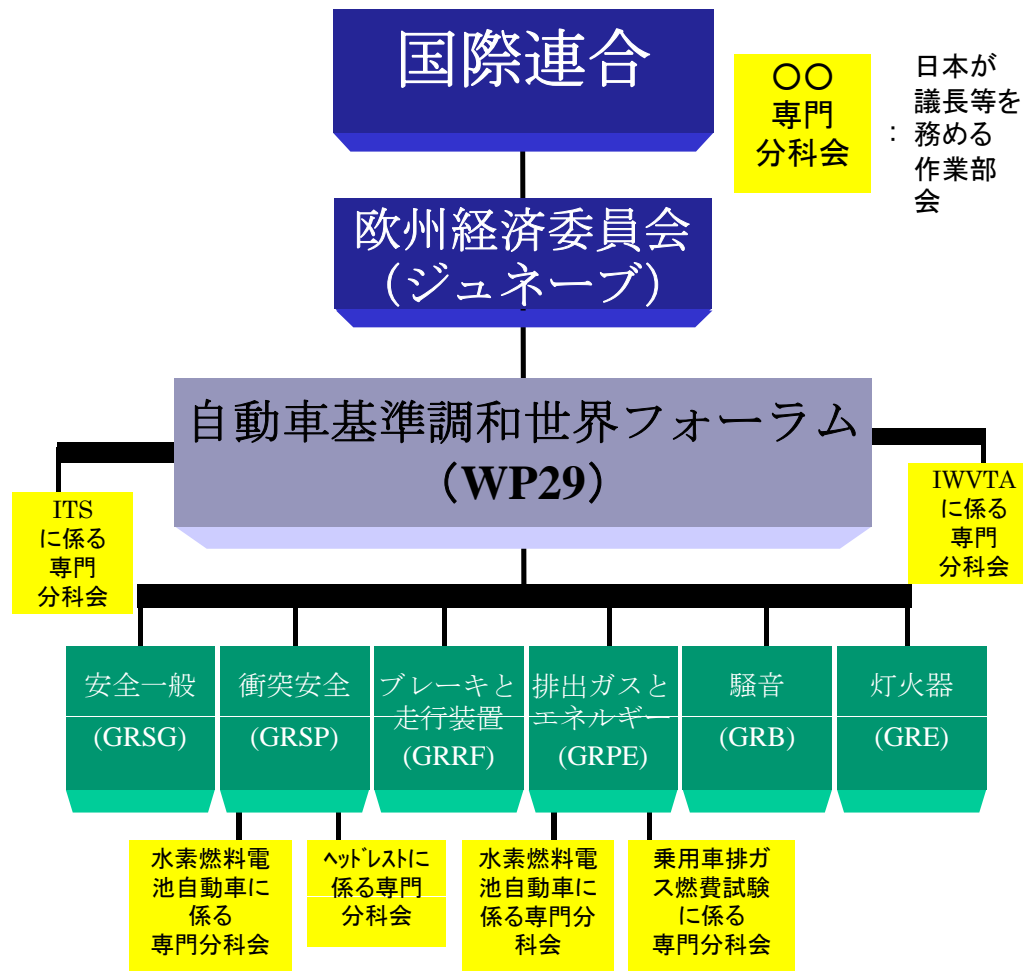


⇒ アジアにおける基準調和活動の重要性が増大

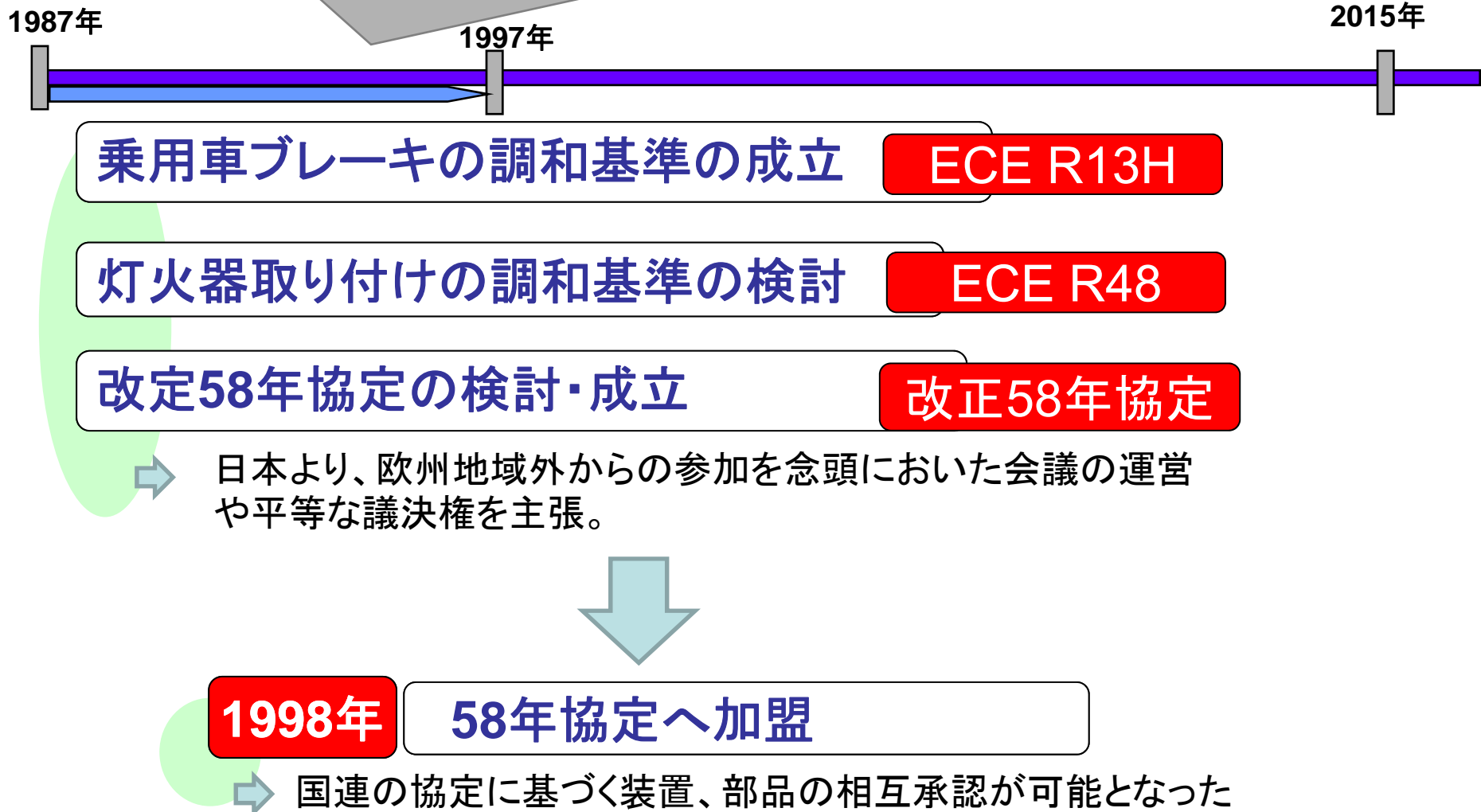
自動車基準調和世界フォーラム (WP29) の概要

次に掲げるそれぞれの協定に基づく規則の制定・改正作業を行うとともに、それぞれの協定の管理・運営を行う。

- ・「国連の車両等の型式認定相互承認協定(略称)」(1958年協定)
- ・「国連の車両等の世界技術規則協定(略称)」(1998年協定)

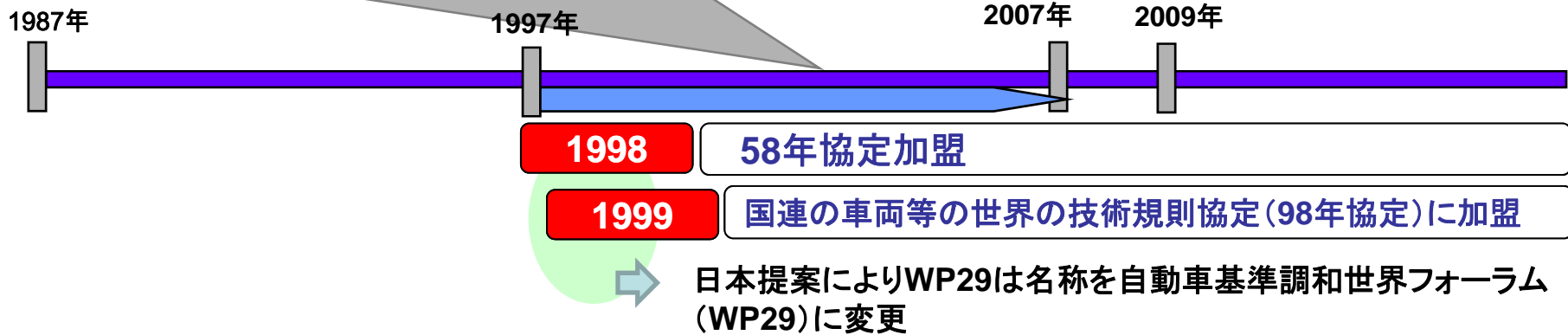


欧州域内の基準調和・相互承認協定であった国連の車両・装置等の型式認定相互承認協定(58年協定)が日本のはたらきかけで、国際的な基準調和活動に発展。



日本の提案した多くの基準がほぼそのまま世界基準となる

・国土交通省と(独)交通安全環境研究所の技術専門家が産業界とともに一体的に対処し、専門家会合に参加
→人脈の形成、ノウハウの蓄積により、研究成果を最大限に活用し、積極的な提案を実現



世界統一基準(gtr)のための共通課題の成立

SR1

日本からカテゴリ、質量、寸法の統一の必要性について提案し、議長として会議をすすめ、成立させた。

二輪車排ガス基準の検討

gtr2

日本の規制値が世界基準となる予定。

歩行者保護基準の成立

gtr9

日本主導で進めていた研究を世界基準として提案し、議長として会議を進め、成立した。

水素・燃料電池自動車の検討

gtrXX

日本の技術基準をもとに世界基準を検討中。議長として会議を進行。

電気自動車の技術基準の成立

ECE R94,95,100

日本の技術基準をもとにECE規則を改定した。

日本の働きかけによりアジアの基準調和、相互承認の気運が高まる

日本からの働きかけ

1988年～1998年

要人招聘(基準認証担当官)
基礎調査
環境・安全専門家会議
APECコンサルタント
中国長期研修生受け入れ



- 各国とのパイプ作り
- アジア各国の基準・認証制度の現状把握
- 基準認証制度の基礎知識の提供
- 安全、環境技術の情報提供

1998年～

アジア官民会議(15回)
専門家会議(22回)
JASIC-中国フォーラム(5回)
JASIC-インドフォーラム(3回)



- 58年協定の内容/重要性を説明
- 各ECE法規の内容を説明
- 基準調和・相互承認に向けた各国のシナリオ作りのサポート



- ★ 韓国、タイ、マレーシアが58年協定に加盟
- ★ 中国、インド、マレーシアが98年協定に加盟
- ★ ASEANは2015年の域内統合に向け、自動車基準調和活動を推進中
→本年11月、日ASEAN自動車基準・認証制度に関する協力プログラムを承認

(3) 欧州における自動車基準の国際調和活動

自動車基準の見直し等により欧州業界の競争力強化を推進

- CARS21(欧州委員会副委員長により設立された官民ハイレベル会合)にて、官民連携して2020年に向けた行動計画を策定
- また、認証審査におけるヴァーチャル試験の導入などにより、製品の法的要件への適合性と認証審査の迅速化・合理化を同時に追求

国際基準を積極的に提案

- CO2削減目標達成のため、TPMS(タイヤ圧モニター)規制強化提案
- DRL(昼間点灯ランプ)装備義務付け
- EU車両認証(WVTA)をベースに国際的な型式認証制度を検討するよう提案

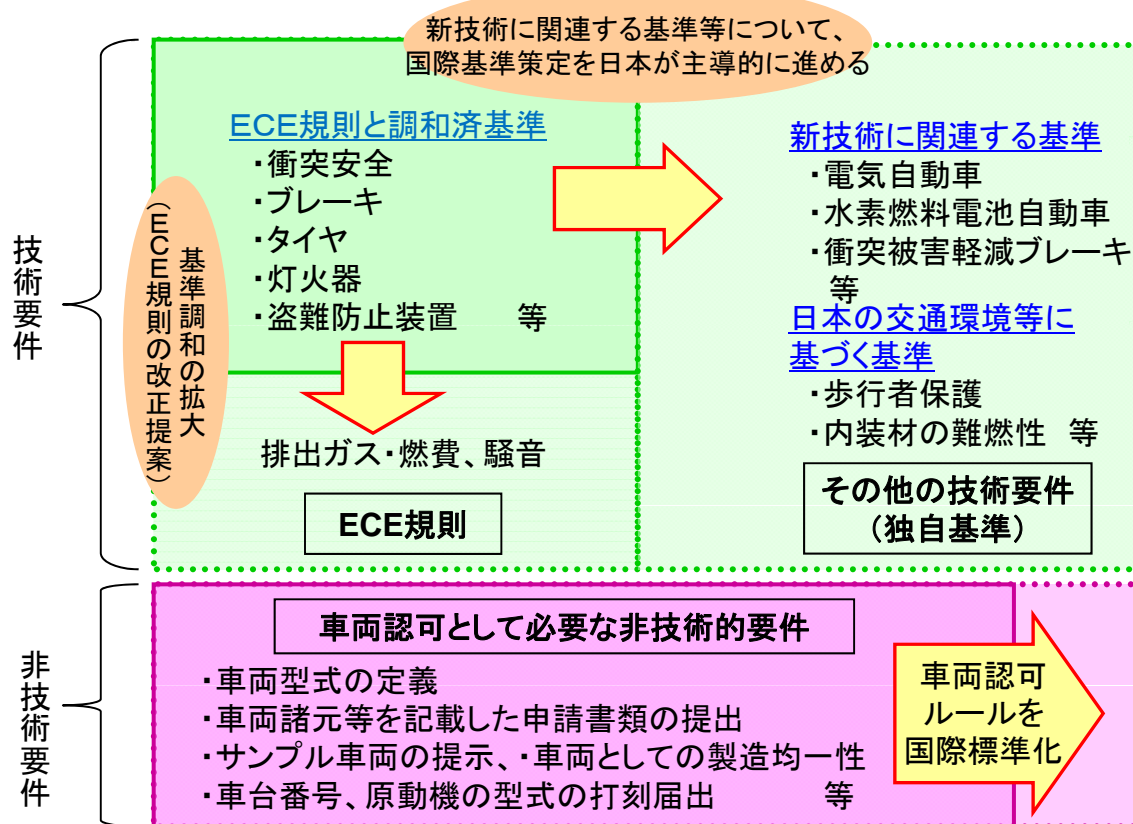
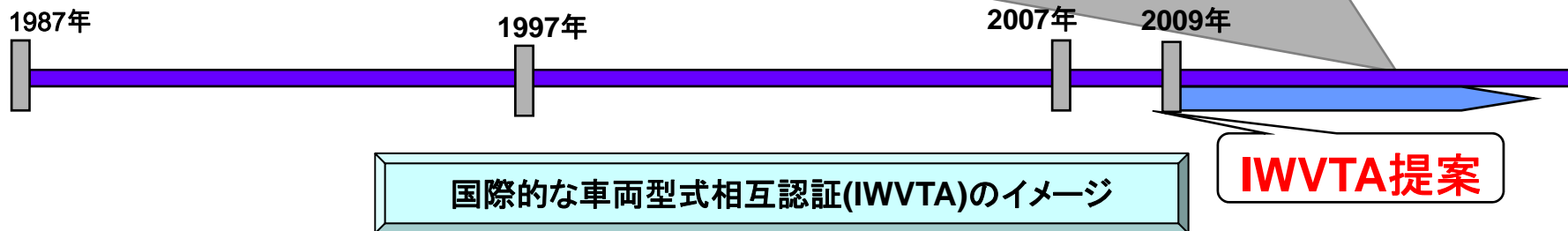
アジア地域で、自動車基準調和活動を積極的に推進

- EUは、2015年を目標年として域内の基準・認証制度を構築中のASEAN諸国に対し、セミナー開催や個別で58協定加盟を働きかけ

3. 官民連携による取り組み強化の イメージ

(1) 国際的な車両型式認証の実現に向けた基盤整備

- ・新技術に関する世界基準作りを日本がリード
- ・現在の装置/部品の相互承認を車両全体の相互承認に



(2) アジア諸国との関係強化

アジア諸国への展開マップ

- **ASEAN**: 自動車基準の国際調和及び認証の相互承認制度のASEANへの展開を目指し、本年11月の交通大臣会合(ATM)において提案し、承認された協力イニシアティブに基づき様々な協力を実施。
- **中国、インド、韓国**などその他のアジア諸国も参加する自動車基準の国際調和活動に関する意見交換のための**官民共同フォーラム**を随時開催。

